

特集!

新しい五所川原市総合計画を策定しました!

将来像「市民ひとりひとりの『思い』で輝く五所川原」

行政がつくる計画に私たち市民が関係あるの?



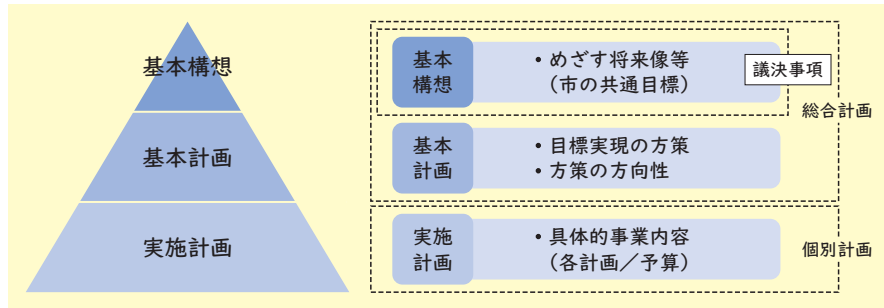
皆さんの生活に深く関係しています。「将来の市をどんなまちにしたいか」が書かれている大事な計画なんです。

総合計画って何?

将来人口の予測などから市の目指すべき将来像を描き、将来像実現に向けた市の目標を示す計画です。

POINT 1 市の最上位計画

総合計画は、市が策定している多くの計画のもとになる計画で、各計画の方向性を示す役割があります。特に、一番上部の「基本構想」は、市の将来像を示す役割があり、議会の議決事項として昨年12月に市議会で議決されています。



POINT 2 市民の皆さん、地域団体、事業者、行政等が同じ目的に向かって、共に歩むための指針

市の将来像を描くためには、行政だけでなく、市内のさまざまな方の意見を取り入れること、そして、市民の皆さん、地域団体、事業者、行政等が一緒になって市の課題を共有し、自分事として捉えることが重要です。

意見交換の機会

市民意識調査、中高生アンケート、各種ワークショップ、地域団体ヒアリング、総合計画審議会、住民懇談会、パブリックコメント等



市のこれからの課題

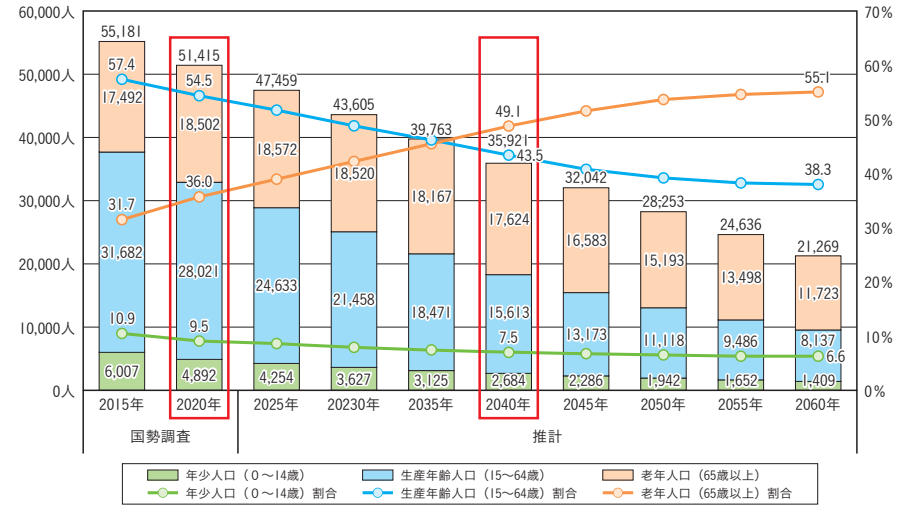
将来を見据えるため、次の将来予測を踏まえています。

- ①人口 : 51,415人 (2020年) ⇒ 35,921人 (2040年)
- ②高齢化 : 36.0% (2020年) ⇒ 49.1% (2040年)

この2つの変化は、市の経済や財政状況にも大きな影響を与えます。

- ①経済 : 人口減少に伴う労働力不足
- ②財政 : 扶助費等の社会保障関連経費等の増加

(図表 年齢3区分別人口推計と人口割合)



(出典:「国勢調査実績値を踏まえたコーホート要因法による推計値」)

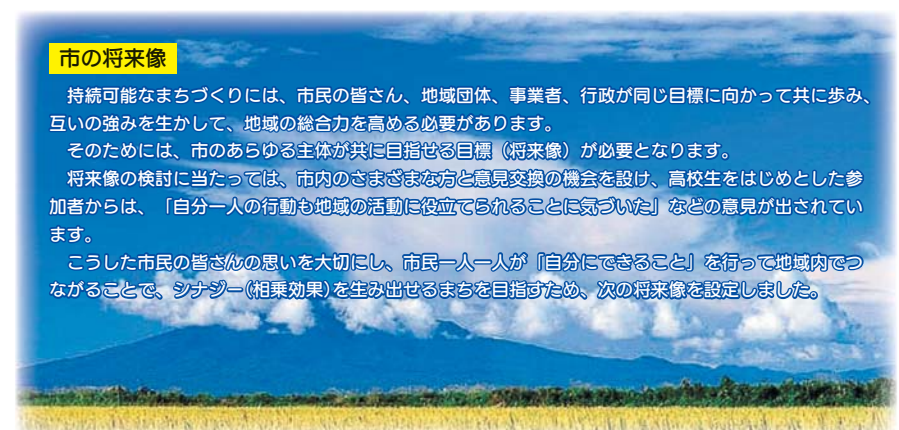
市の将来像

持続可能なまちづくりには、市民の皆さん、地域団体、事業者、行政が同じ目標に向かって共に歩み、互いの強みを生かして、地域の総合力を高める必要があります。

そのためには、市のあらゆる主体が共に目指せる目標(将来像)が必要となります。

将来像の検討に当たっては、市内のさまざまな方と意見交換の機会を設け、高校生をはじめとした参加者からは、「自分一人の行動も地域の活動に役立てられることに気づいた」などの意見が出されています。

こうした市民の皆さんの思いを大切に、市民一人一人が「自分のできることを行って地域内でつながることで、シナジー(相乗効果)を生み出せるまちを目指すため、次の将来像を設定しました。

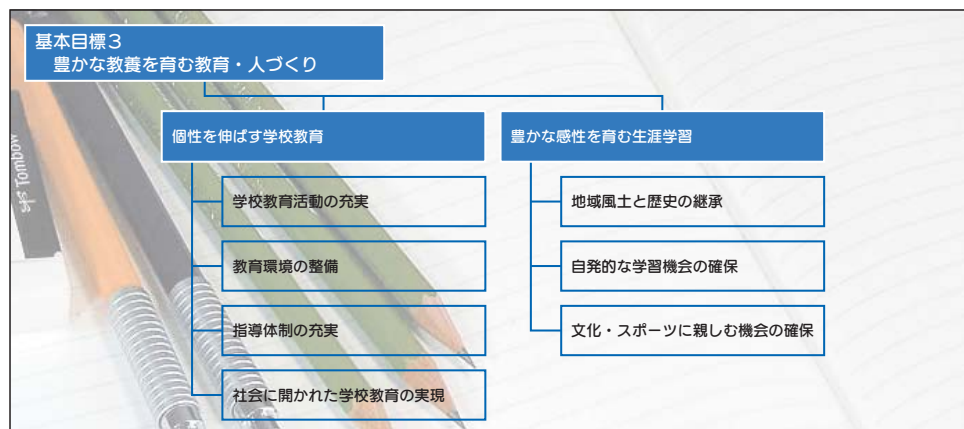
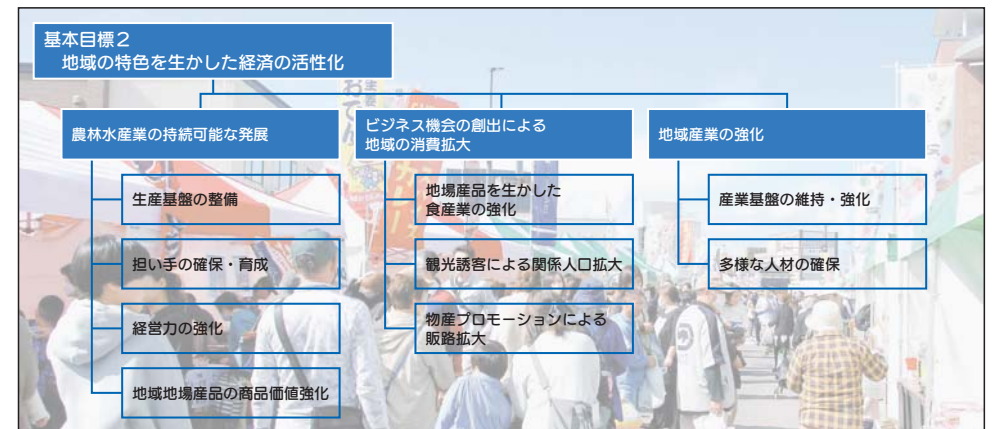
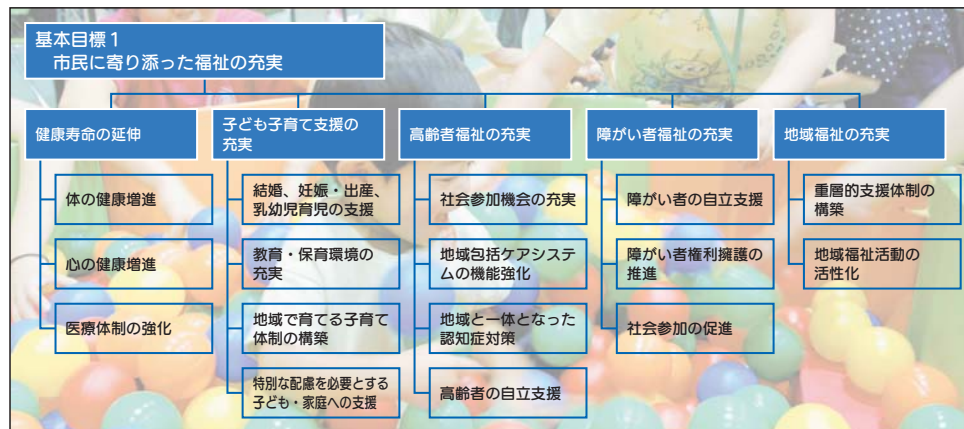


「市民ひとりひとりの『思い』で輝く五所川原」

「市民ひとりひとりの『思い』で輝く五所川原」の実現に向けた4つの基本目標



基本構想に掲げる将来像の実現のため、4つの基本目標を設定しています。また、目標に沿って、下図の施策の体系を構築し、着実に市政を推進していきます。



市長からのメッセージ

①2040年の五所川原を見据えた今後5年間の方向性を示す計画

総合計画は、今後の市の将来像を示す計画であり、まちづくりの最上位計画です。この計画の内容は、市内のあらゆる主体と共にまちづくりを行う指針となります。

特に、将来像は2040年に設定しながらも、計画期間は従来の10年間から5年間へと短縮しました。

これは、人口減少、少子高齢化が急速に進む中、2040年という未来を見据えながら、直近の5年間で地域の土台をいかに形成し、さらにその先の10年間でどう発展を遂げるか、まさに今、そのスタート地点に立っていると考えたためです。

②市民皆で共有するためのシンプルな柱

2040年の市の将来像は、「市民ひとりひとりの『思い』で輝く五所川原」としています。まちづくりには、市民の皆さんが自分の住まわちの課題を自分事として捉えて行動することが重要です。そのためには、シンプルで誰もが理解しやすい計画が必要となります。そこで、本計画では政策・施策を整理し、「福祉」「経済」「教育」「まちづくり」の4つの柱で構築しています。ぜひ、計画に触れ、市の課題を共有し、自分の立場でできることを考えてみてください。一人一人の行動で大きなシナジー（相乗効果）を生み出し、「市民の思いで輝く五所川原」を一緒に創っていきましょう。

興味がある方は、下QRから計画の全文をご覧ください。



問い合わせ先…ふるさと未来戦略課 内線2232